

KDImageReader2は、非常に大きなイメージデータを表示して比較できるビューア製品です。

特長

非常に大きなイメージデータを表示して比較できるビューア製品です。
画像以外のデータも付属の仮想プリンタで画像化し表示および比較することができます。
(※データを開いて印刷できるアプリケーションが別途必要です。)

動作環境

Windows 7
Windows 8
Windows 8.1
Windows 10
Windows 11

Windows Server 2008 R2
Windows Server 2012
Windows Server 2012 R2
Windows Server 2016
Windows Server 2019
Windows Server 2022

※64bit環境では、32bitアプリケーションとして動作します。

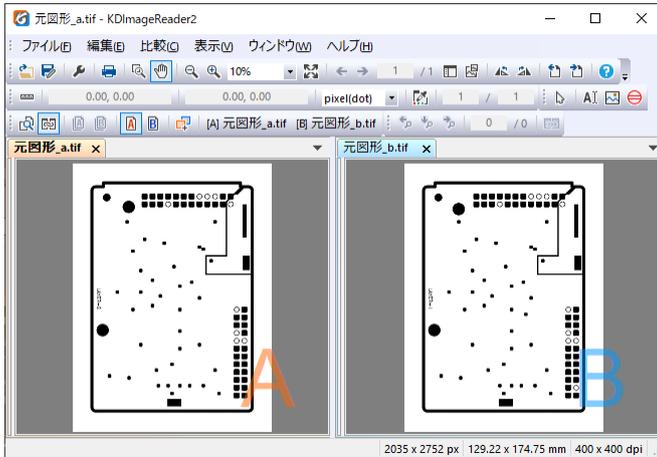
標準価格

| 型番 | 製品名 | ライセンス数 | 価格(税抜) | 単価(税抜) |
|------------|-----------------|--------|--------|---------|
| KD-VIW0701 | KDIImageReader2 | 1 | 9万円 | 90,000円 |
| | | 2 | 16万円 | 80,000円 |
| | | 3 | 22.5万円 | 75,000円 |
| | | 4 | 28.8万円 | 72,000円 |
| | | 5 | 35万円 | 70,000円 |
| | | 10 | 60万円 | 60,000円 |
| | | 20 | 100万円 | 50,000円 |
| | | 50 | 200万円 | 40,000円 |
| | | 100 | 300万円 | 30,000円 |

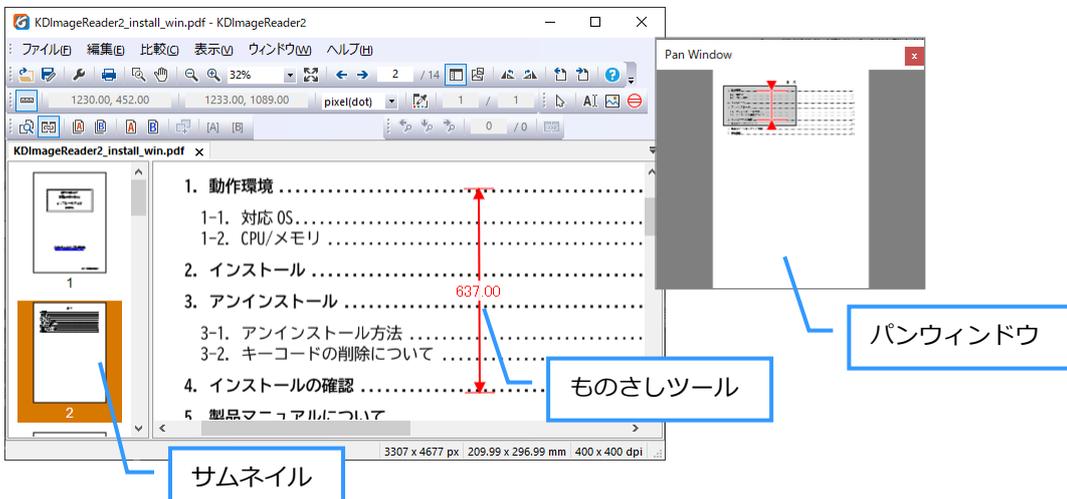
主な機能

◇ 表示

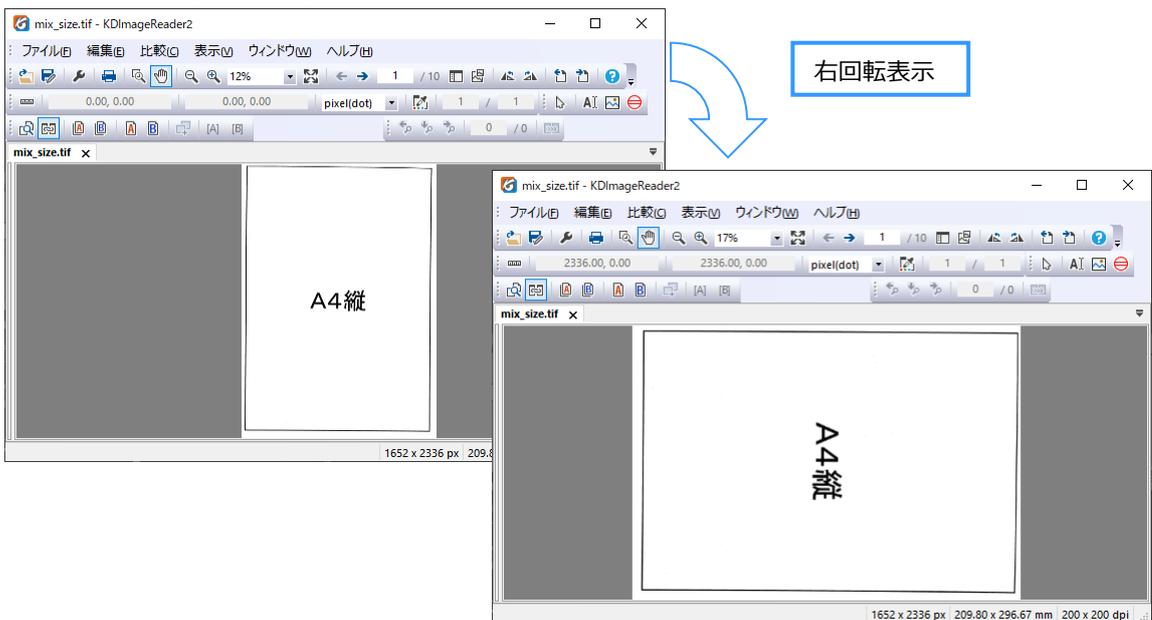
- 複数の画像をタブ形式で表示できます。それらを左右または上下に並べて表示できます。



- サムネイル、ものさしツール、パンウィンドウ(全景ウィンド)を表示できます。

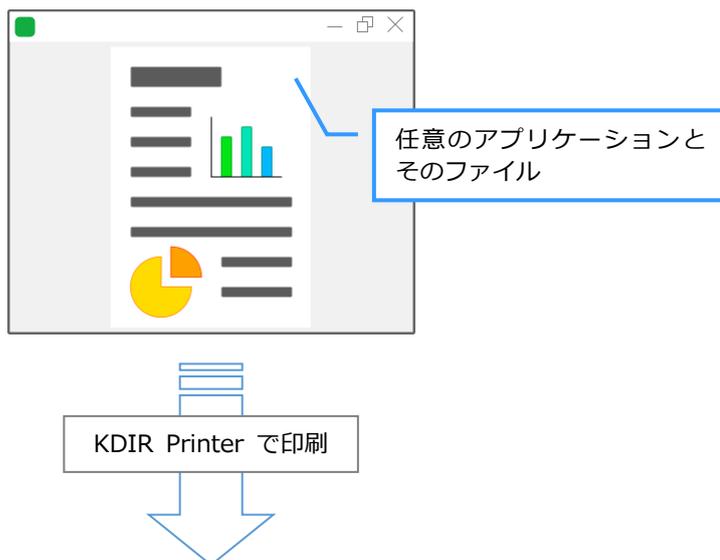


- 表示データの回転(90度単位)を行うことができます

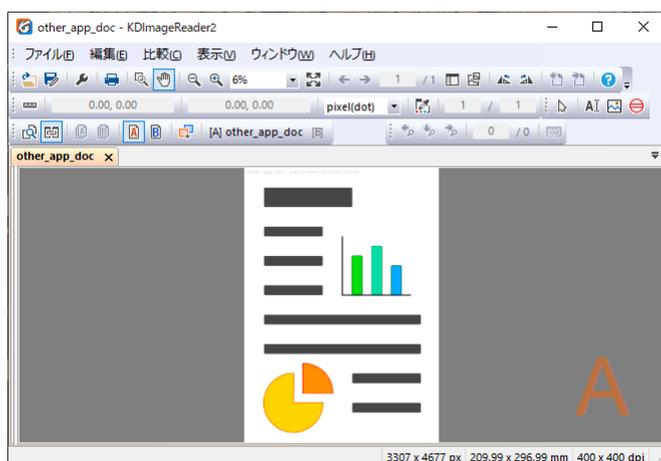


◇ 仮想プリンタ(KDIR Printer)

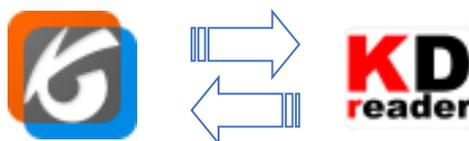
- 任意のアプリケーションから KDIR Printer を使ってデータを印刷します。



- 印刷したデータが画像化されて KDIImageReader2 で表示されます。この表示されたデータを比較対象として選択して比較できます。



◇ KDreader との連携



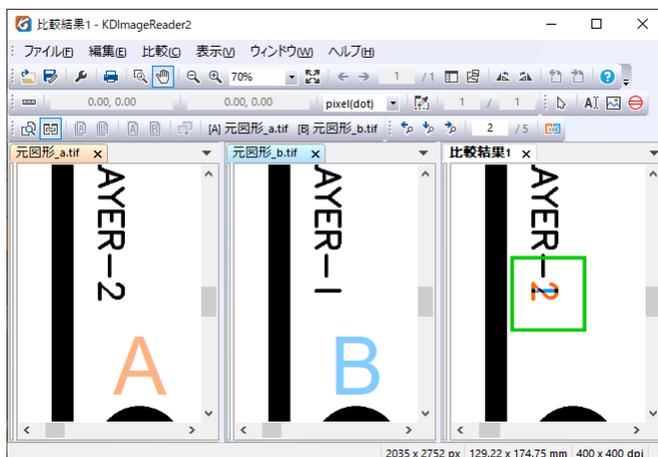
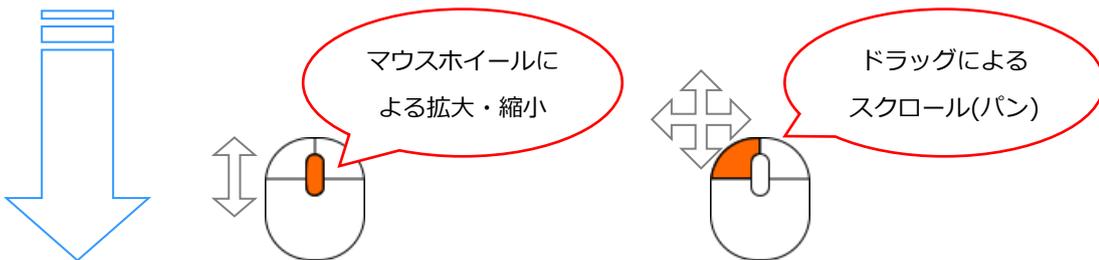
- 別売りの KDreader (V3.5.2以降) がインストールされた環境では、HP-GL/2 などの KDreader が対応するベクターデータを KDIImageReader2 で表示できます。
- ベクターデータは画像化して表示され、比較対象として選択できます。

◇ 比較

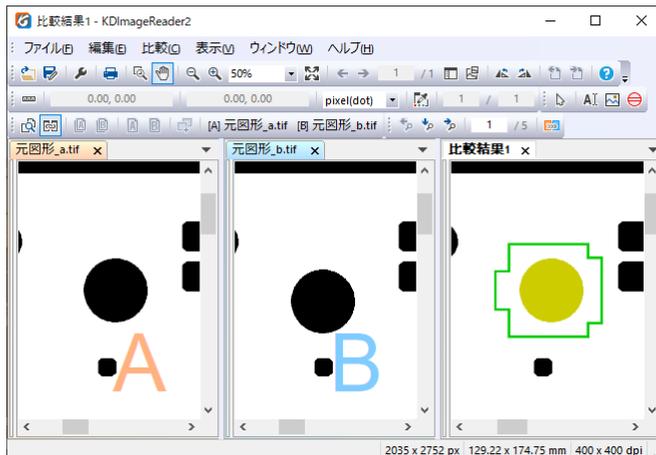
- 比較したいファイルを2つ開いて、[比較開始]ボタンをクリックすることで結果を表示できます。



- 比較したい2つのファイルについて、表示倍率やスクロールなどを連動させることができます。比較処理を行い結果が表示されると、比較結果も合わせて連動します。

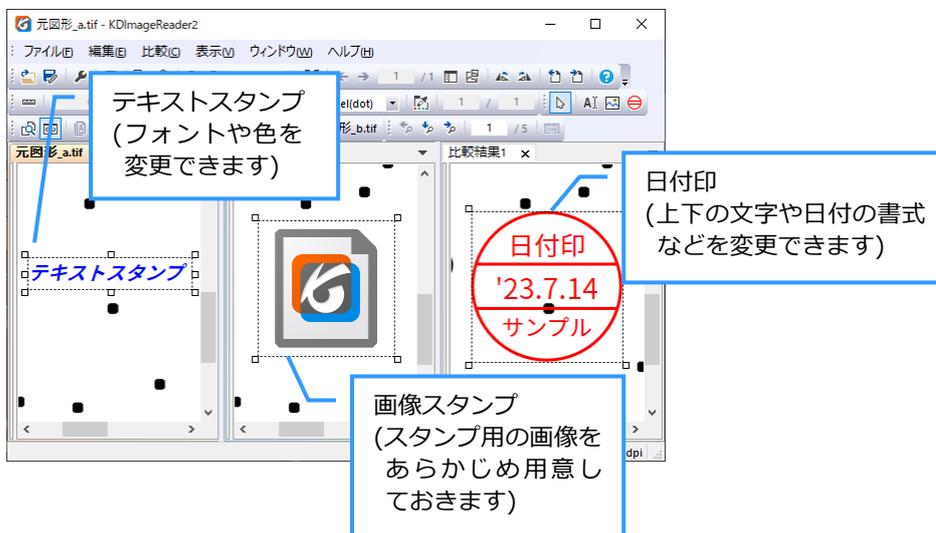


- 同じ形の図形の位置が少しずれている場合、通常の差分とは分けて検出できます
この機能はオフにすることもできます。



◇ スタンプ

- 表示した画像にスタンプを挿入できます。



◇ 出力

- 表示した画像をTIFFやPDFに保存できます。
- 比較結果を保存する場合は、差分の情報などを持ったKDIImageReader2専用の形式であるKDRファイルに保存できます。KDRファイルは、比較元となった画像を保持できます。
- スタンプを挿入した画像をTIFFやPDFに保存すると、スタンプは画像化して合成されます。KDRファイルに保存する場合はスタンプとして保存できます。

制限事項

◇ PDFファイルの制限事項

1. PDF はイメージに変換してから表示します。
2. 以下の形式の PDF ファイルは、入力ファイルとして扱えません。
 - ・ ページの縦か横が 10m を超える PDF
 - ・ PDF 2.0 の範囲を超える、アプリケーション独自の拡張が使用された PDF
3. PDF ポートフォリオは未対応です。(通常の PDF ファイルとして表示されます。)
4. 壊れている PDF は正常に表示できません。
5. 一部のシェーディングが正しく表示できません。
6. 一部のブレンドモードに対応していないため、透過した図形の色合いが微妙に異なる場合があります。
7. JavaScript を利用した機能は有効になりません。
8. PDF で指定されたフォントがインストールされていない場合に、一部の文字が正しく表示されないことがあります。
この問題は、PDF を作成するときにフォントを埋め込んでおくことでも回避することができます。
9. JPXDecode(JPEG 2000)のうち拡張機能が使用されているイメージは、表示できません。
10. 使用されている色空間によって、変換後に色合いが変わることがあります。

◇ スタンプの制限事項

1. 透過情報を持った画像を画像スタンプとして挿入できますが、TIFF や PDF に保存するときに半透明の情報が正しく反映できません。

